

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年1月20日

事業所名：児童デイサービスやっほ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・現状は確保が出来ている。		・今後の利用者増加の際には、その都度マットの大きさ等の検討は必要。 ・臨機応変にマットを畳んで活動のスペースを確保するようにする。
	2 職員の適切な配置	・現状は適切に配置が出来ている。		・現在の取り組みを継続していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・スロープの設置などバリアフリーの対応は出来ている。 ・身障者用のトイレは少し狭く介助がしにくい。		・トイレ等は足台の設置など今よりも使いやすい工夫をしていく。 ・柵のラベリング等、定位置の視覚化を検討する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・日々の掃除・消毒は出来ており清潔な空間の維持は出来ている。 ・マットで一人ひとりの空間を確保しているので個々の活動に合わせた空間が作れている。		・現在の取り組みを継続していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・ヒヤリハット報告書をきちんと書くようにする。 ・個々でその時々が出来事については話している。 ・きちんと評価までは出来ていないと感じる。	/	・毎月の会議をしっかりと行っていくと共に、毎朝朝礼を行う様にしていく。 ・月の会議をしっかりと行い、評価が行えるようにしていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・出来たばかりの事業所の為、当面は外部の第三者に評価は考えていない。 ・保護者の方から意見を頂いた際には、その都度話し合いを行う様にしている。	/	・いずれは第三者評価も検討していきたいと考えている。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部の研修の機会が少なかった ・案内が来たものに関しては積極的に参加するようにした。	/	・外部研修の案内を周知徹底するようにする ・職員の意見を取り入れて内部の研修を定期的に関催出来るようにする。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・保護者からの聞き取りは複数人で行う様にしている。 ・一人で計画は立てずに様々な職種からの意見を取り入れて計画を立てている。	・緩やかながら子どもの発達のための工夫点など家庭でも実践してできる事は共有したいです。	・今後も職員間で意見を出し合いながら計画を立てていくようにする。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別で過ごす事が多いが、その中でも集団へ意識が向くような働きかけは出来ている。 ・個別支援計画の内容を職員全体がどこまで周知出来て実行できているかは分からない。		・アンケートの回答は全員が「はい」だったので今後も継続していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・抽象的な表現ではなく誰でも分かりやすい表現で書くようにした。 ・目標の設定は無理のないものを職員間で話し合い立てる事が出来た。		・現在の取り組みを継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 （続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、職員間では些細な事も情報を共有でき目標の確認は出来ていた。 ・計画の周知だけではなく、理解度は個々によって違い認識の違いなどがある。 ・放課後の時間は実施が難しい日もある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画を可視化して評価していけるようにする。 ・気づいたことはその場で確認し、職員で支援のムラができないように気を付けていく
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを考える際にも他職種に意見を聞き、個々に合わせた製作手順や遊び方を立てられている。 ・手順などもみんながそのため理解できてスムーズに取り組むことが出来ていた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを継続していく
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生活に合わせて、臨機応変に対応が出来た。 		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを継続していく
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の製作、遊びなどを取り入れていけた。 ・さまざまな製作技法を取り入れられた。 ・週ごとで活動を立てる様にして、固定化しないように気を付けられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の製作は保護者の方からも好評で喜んでもらえているので引き続き継続してやっていきたい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードも活用し、時間の担当を視覚化したところは良かった。 ・ホワイトボードを確認していない職員もいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・朝に職員同士で話し合う時間を設けてスケジュールの確認を行う様にする ・昼以降出勤のスタッフにもしっかりと情報の伝達を行う様にする。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務終了時間や送迎などで終了後に共有することは難しい。 ・記録は誰でも見れるようにしているが周知はできていない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有化を朝の朝礼時に昨日の振り返りの時間も設けて行う様にし、全体へ共有するようにする。 ・記録の見方など周知徹底していく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて数名のスタッフで支援の検証を行い実施している。 ・日々の記録は細かく記載できている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを継続していく
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・半年間の評価で計画の見直しができる。 ・一覧表にし、ボードに掲示することで面談の取りこぼしがないようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを継続していく 	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・コロナの影響もあり開催があまりない ・電話などでは話し、情報を共有できるようにしていく。		・コロナの情勢を見つつではあるがオンラインでの開催なども検討していく
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・その都度必要な機関と連携をしている。		・現在の取り組みを継続していく
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・緊急時の連絡票を記入して頂き預かるようにしているので、主治医などすぐわかるようになっていく。		・協力医療機関のDr. にも一覧表などを渡しておく、子どもの状態を把握してもらえるようにしておく。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・学校との情報共有はできている。 ・送迎時にも保護者、先生から様子について話す時間は確保出来ている。		・現在の取り組みを継続していく
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・今年度から運営の為、まだ行われていないが必要に応じて情報を提供していきたい。		・相談支援員さんとも連携を取って卒業までに進めていきたい。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・積極的に参加している ・センターとの連携も必要に応じて出来ている。		・現在の取り組みを継続していく
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・コロナの影響もあり出来ていないが、今後も重心型のデイの為難しい。	・まだデイでの障害のない子どもとの交流はありません	・コロナの情勢も見つつ、近所の児童館などに行く機会があれば行ってみることも検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・コロナの影響もあり今のところ出来ていない。		・事業所への理解の為、コロナの情勢を見つつ開催出来るように模索していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に書面と口頭でしっかりと説明をしている。 ・支援の内容は日々伝えられる時には口頭でも伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も丁寧に説明をしていく。 	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・書面で口頭で説明をしっかりとおこなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からもわからないといった声はない。 ・今後もしっかりと説明を行っていき、よりよい計画が立てられるようにする。 	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や、利用時に相談がある際は専門分野に応じて職員が相談に応じる様にしている。 ・事業所としては開催できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見も取り入れつつ開催出来るように職員も研修などを受けていきたい。 ・コロナの影響もあり集まりにくいのでオンライン等の方法も検討をしていく。 ・今後も必要に応じて相談には応じていき、育児支援は行っていきたい。 	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から連絡帳なども活用をし、情報を共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを継続していく 	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・相談を受けた時にはすぐに対応をし、改善につながるように支援している。 ・保護者の方が欲しい情報を必要な時に提供できているかは分からない。 ・職員も知識が足りていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画以外の面談機会がないのでそういった機会を設けてもいいかと思う。 ・研修などを外部、内部に関わらず参加し、職員の知識を深めていきたい。 	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナの影響もあり開催できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に必要は感じていない ・必要だとは思いますが別に求めてはいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学日を設けて様子を見てもらいつつ、横の繋がりが出来ると良いかもしれないので何か方法を模索していきたい。 ・オンライン等の方法も検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・体制整備はできている。 ・保護者へも書面から口頭で説明をしており周知出来ている。 ・今年度は苦情に至る前にしっかりと話を聞き対応が出来ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も周知徹底をしていけるようにする。 ・丁寧な対応を継続していくように心がける。 	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に配慮は出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も誠意もって対応していく。 ・LINEも活用し、細かな事も保護者と連絡ができたことは評価を得ている。 	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は会報など発行は出来ていない。 ・ホームページは更新は時折していたが、更新したことを周知出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会報はもらった事がないです。ホームページは定期的に確認していなかったので見えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度から年何回か会報を発行しても良いかと思う。 ・ホームページを更新した際には周知出来る様にしていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・署名し、同意を頂けている。 ・書面にて口頭でも説明は出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、個人情報の取り扱いについて十分に配慮ができていますので、今後も丁寧な説明を続ける 	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・策定はできている。 ・契約時には説明しているが、周知出来ていないかは分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対応は周知の説明を受けました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時の説明を今後も丁寧に行っていき周知できるように努めていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はまだ実施できていない。 ・災害物品の見直しが不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ経験がないです 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に見直す時期を決める。 ・新年度までに一度実施するようにする。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待関連の研修は外部では案内がなく参加できていない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・内部の研修を早急に開くようにし、職員に適切な対応を学んでもらう様にする。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭でどのような時に行うか説明は保護や、職員には周知している。 ・記録に残すことも周知されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し周知していく。 ・今年度は行うことはなく過ごせて良かった。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの利用者さんがいなかった。 ・アルコール禁の利用者さんに対しては周知ができており適切な対応が出来ていた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後食物アレルギーを持った方が利用されるなら指示書を頂く方針 ・今年度はコロナの事もありクッキングは行えなかったが、今後することがあれば事前にアレルギーの情報は保護者へ発信していくようにする。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、複数職員と振り返りを行い共有していくようにしている。 ・記録は誰でも閲覧できるようになっているが周知は出来ていない。 ・報告件数がやや少ない 		<ul style="list-style-type: none"> ・報告をしっかりとできる様に徹底していく。